



11月10日、退任式の様子（象潟庁舎）



# 横山市政3期12年の軌跡

(平成17年11月～平成29年11月)

## 横山前にかほ市長 退任のあいさつ

私は11月12日の任期満了をもって、市長の職を退任いたしました。市民の皆さまには、これまで温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

平成17年10月「平成の大合併」で誕生した「にかほ市」の初代市長として3期12年、「新市まちづくり計画」の基本理念であります「夢あるまち・豊かなまち・元気なまち」を実現するために、全力を傾注して市政に取り組んでまいりました。また、この間、主要企業の生産体制の見直しなど、厳しい社会情勢の変化にも企業誘致など可能な限り対応しながら、市政を前へと進めてきました。

私の政治姿勢は、市政の主役は市民一人ひとりであるとの基本姿勢にたって、市民の声に耳を傾けながら旧三町の特性を活かし、均衡のある発展を市民と「協働」しながら目指してまいりました。しかし、「まちづくり」の基本となる財政基盤は、税収が少ないために脆弱で、一年間の予算の大半を地方交付税など国や県からの交付金、そして事業を行うための借金で賄っており、市民の「ま

ちづくり」に対する負託に応えるために、これまで象潟・仁賀保両中学校の建て替え、金浦地区の環境整備、ゴミ焼却施設・環境プラザの建設、観光拠点センターにかほつとの整備、そして、山の田前川線などの幹線道路の整備など、にかほ市発展の基盤整備を進めてまいりました。

さらに、中学卒業までの医療費の完全無料化、保育園の保護者負担の大幅な軽減、地元企業への積極的な支援を通して雇用機会を拡大するなど、ハード・ソフト両面にわたって事業を展開してまいりました。そして、各種の事業を実施しながらも将来世代に過度の負担を残さないために、積極的な「行財政改革」を進め、借金の繰り上げ償還を実施しながら財政基盤を強化してきました。今後においても財政環境は厳しいものがありますが、市川市長には、「にかほ市」の特性を活かしながら、新たな発想で「にかほ市」を創造されることを期待しております。

結びになりますが、市民の皆さまのご多幸をご祈念申し上げます。今後はひとりの市民として「にかほ市」のさらなる発展を願いながら退任のご挨拶いたします。

横山 忠長